

2023年3月開業(予定)東急新横浜線の運行計画の概要について

東急電鉄株式会社

当社は、2023年3月に「東急新横浜線」の開業を予定しています。「東急新横浜線」の開業により、広域鉄道ネットワークの形成と機能の高度化が図られるとともに、速達性の向上、新幹線アクセスの向上、乗換回数の減少や、沿線地域の活性化などに寄与します。「東急新横浜線」の運行計画の概要は以下のとおりです。

なお、当社は事業構造変革による事業基盤の強靱化とアフターコロナに即した社会的価値の持続的な提供を目指して、2021年5月に公表した中期事業戦略「3つの変革・4つの価値」を推進してきました。その中で掲げた通り、これまで目黒線で実施してきたワンマン運転を、直通する東急新横浜線に拡大実施します。また、東急新横浜線との直通にあわせて、東横線も2023年3月からワンマン運転を順次実施します。

※詳細なダイヤ・時刻については、今後別途お知らせします。

1. 東急新横浜線開業区間

新横浜駅～日吉駅(営業キロ:5.8キロ)

2. 運行計画の概要

<運行計画のポイント>

- ・東急線内から東海道新幹線へのアクセス強化を図ります。
- ・東急新横浜線を走行する全列車が東横線または目黒線と直通します。
- ・東急新横浜線から東横線へ直通する列車はすべて急行で運行、目黒線へ直通する列車は急行、各停で運行します。
- ・東急新横浜線内の全列車が新横浜駅、新綱島駅に停車します。

<平日朝ラッシュ時間帯(※1)の上りダイヤ>

■東急新横浜線

- ・1時間あたり最大16本の列車を運行します。そのうち4本が東横線へ直通し、12本が目黒線へ直通します。
- ・目黒線へ直通する12本のうち最大5本は新横浜駅始発となります。

■東横線

- ・菊名駅始発の各停(1時間あたり4本)を、東急新横浜線と直通する急行へ変更します(※2)。

■目黒線

- ・急行の各停追い越し駅を原則として武蔵小山駅から奥沢駅へ変更することで、急行の日吉駅～目黒駅間の所要時間を2分短縮します。(22分→20分)
- ・奥沢駅、武蔵小山駅の両方で各停を追い越すことで日吉駅～目黒駅間の所要時間を最大で5分短縮(22分→17分)する急行を6本設定します。

<日中時間帯のダイヤ>

■東急新横浜線

- ・1時間あたり6本の列車を運行します。そのうち2本が東横線へ直通し、4本が目黒線へ直通します。
- ・目黒線へ直通する4本のうち2本は新横浜駅始発になります。

<主な区間の所要時間(終日における最速列車)>

- | | |
|----------------|------------------|
| ・新横浜駅～目黒駅間 23分 | ・新横浜駅～渋谷駅間 25分 |
| ・海老名駅～目黒駅間 53分 | ・新横浜駅～自由が丘駅間 15分 |
| ・二俣川駅～目黒駅間 38分 | ・湘南台駅～渋谷駅間 51分 |
| ・大和駅～目黒駅間 46分 | ・二俣川駅～渋谷駅間 39分 |

※1 朝ラッシュ時間帯はおおむね7時台～8時台を指します。

※2 各駅停車の運行は概ね4～7分間隔とし、可能な限り運行間隔を均等にすることで利便性に配慮します。

詳細は別紙(1)(2)の通りです。

以 上

【参考】

■新横浜駅の共同管理について

新横浜駅付近には大規模な集客施設が複数あり、新幹線とのアクセスも可能であることから、相鉄線および東急線沿線にお住いのお客さまのみならず、都心部や関西・中京方面からも多くのお客さまの来街が期待できるエリアです。そのようなエリアの特性も踏まえ、今回開業する相鉄新横浜線・東急新横浜線「新横浜駅」は、あらゆるお客さまにきめ細やかなサービスを提供すべく、相模鉄道株式会社と当社が共同で管理・運営を行います。また、新横浜駅には2つの改札口があり、羽沢横浜国大駅寄りの南改札を相模鉄道株式会社が、新綱島駅寄りの北改札を当社が運営します。両社が協力して運営することで、より良いサービスを提供していきます。

■東急新横浜線の特設サイト <https://www.tokyu.co.jp/railway/service/activity/network/chokutsusen/>

以 上

美しい時代へ — 東急グループ

2023年3月 相鉄・東急新横浜線 開業!

相鉄線と東急線が

1本につながります



2023.03

つながる! SOTETSU LINE
TOKYU LINE

海老名 ↔ 新横浜 ↔ 渋谷
湘南台 ↔ 目黒 ↔ 都心部

人へ、街へ、未来へ。



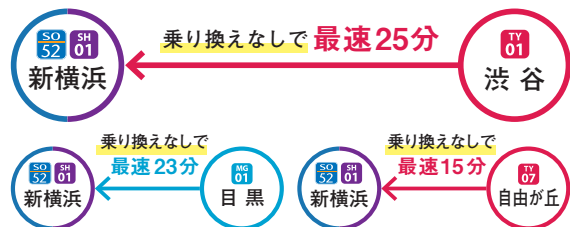
東急電鉄

つながる! 2023年3月 相鉄・東急 新横浜線 開業!

「東急新横浜線」が、同じく開業する「相鉄新横浜線」と新横浜駅でつながり、広域鉄道ネットワークが形成されます。

✓ 東海道新幹線へのアクセス向上!

東海道新幹線「新横浜駅」に直結*する相鉄・東急「新横浜駅」が誕生! アクセスが大幅に向上します。*歩行者デッキなどを介してつながります。



相鉄・東急新横浜線

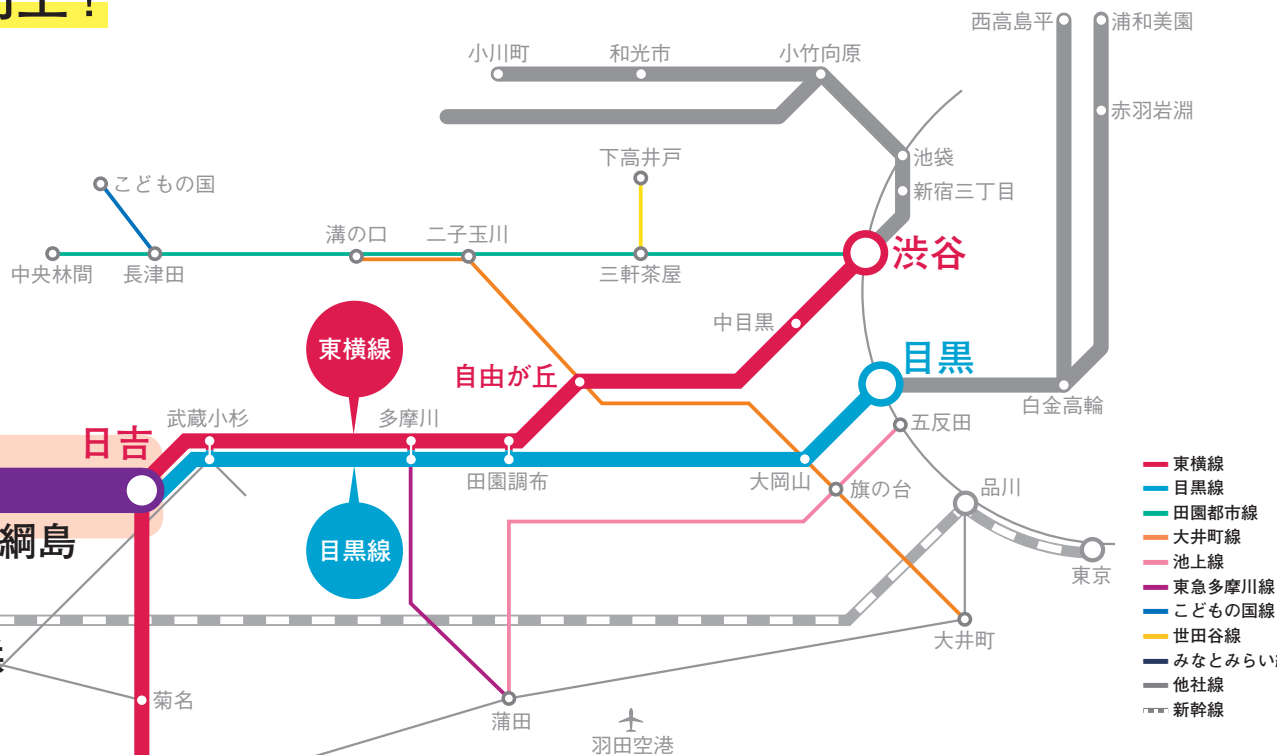
西谷駅から新横浜駅を經由し、東横線・目黒線日吉駅までの区間に連絡線を整備。



✓ 乗換回数減!

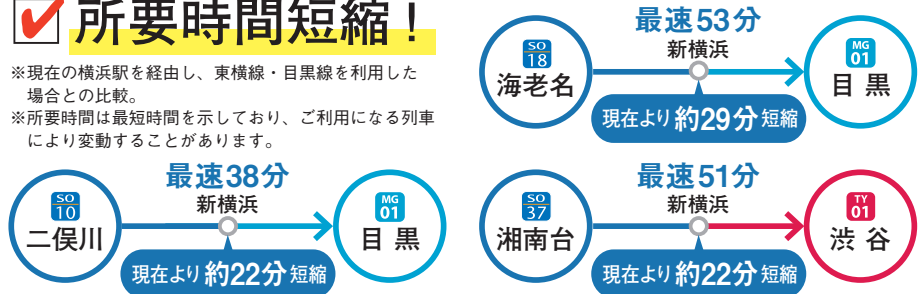


※記載の情報は、今後の計画により変更となる場合があります。



✓ 所要時間短縮!

※現在の横浜駅を經由し、東横線・目黒線を利用した場合との比較。
※所要時間は最短時間を示しており、ご利用になる列車により変動することがあります。

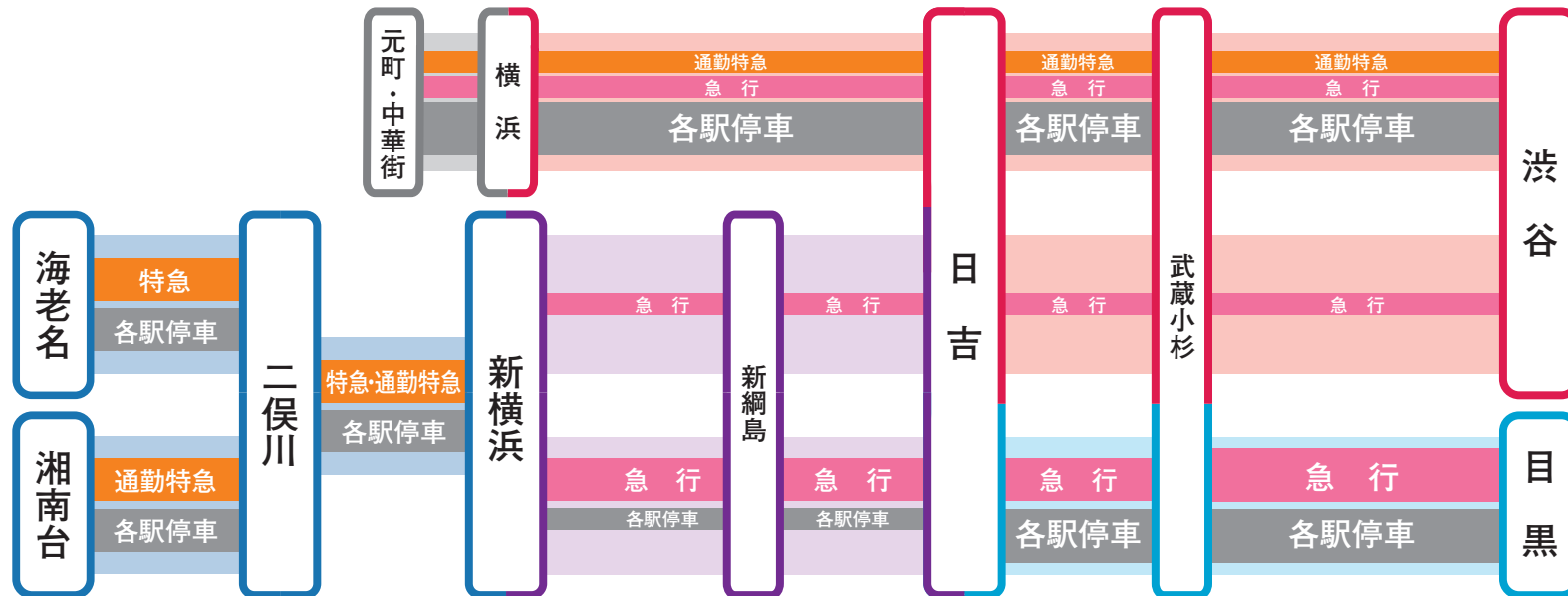


相鉄・東急新横浜線、東横線、目黒線 の運行(朝ラッシュ時間帯・上り)について

※朝ラッシュ時間帯(おおむね7時台～8時台)の情報を記載しています。今後の計画により変更となる場合があります。

東急新横浜線

- 最大16本/時を運行
- 新横浜駅始発は、最大5本/時を運行
※日中時間帯は、2本/時を運行
- 新横浜駅、新綱島駅は全ての列車が停車(終日)
- 東横線、目黒線に直通運転する列車種別(終日)
東横線：急行
目黒線：急行、各駅停車



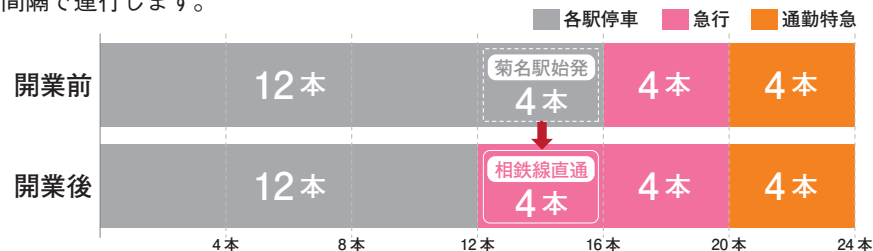
相鉄線直通列車は一部を除き、東急線内は急行で運転します。

※日吉～田園調布は、同一ホームで、東横線と目黒線の乗り換えができます。

相鉄線 みなとみらい線 東急新横浜線 目黒線 東横線

東横線

- 急行を4本/時→8本/時に増発
- 各駅停車は、利便性に配慮して運転間隔を可能な限り統一し、おおむね4分～7分間隔で運行します。



目黒線

- 急行の所要時間を2分～5分短縮(日吉駅→目黒駅間)
原則として、各駅停車の追い越し駅を武蔵小山駅から奥沢駅へ変更します。
- 日吉駅始発列車について
朝ラッシュ時間帯：22本/時→10本/時
日中時間帯：12本/時→8本/時

運賃のご案内

■東急新横浜線 新横浜駅から東急線主要駅までの各種運賃

(単位：円)

区 間	普通旅客運賃 (大人)		通勤定期旅客運賃 (大人 1か月)	通学定期旅客運賃 (大人 1か月)
	1円単位	10円単位		
新横浜～日吉	250	250	9,400	3,440
新横浜～武蔵小杉	297	300	11,190	4,090
新横浜～自由が丘	320	320	12,050	4,420
新横浜～中目黒	358	360	13,360	4,910
新横浜～目黒	358	360	13,360	4,910
新横浜～渋谷	358	360	13,360	4,910

※加算運賃を含んだ金額です。

※2022年4月8日にて上限認可を受けた運賃で算出しており、実際の運賃額と異なる場合があります。

■加算運賃について

新線建設などにかかった設備投資費用の一部をお客さまにご負担いただくため、東急新横浜線新横浜駅～新綱島駅の区間、または同区間と他の区間とにまたがって乗車する場合には、基本運賃に加えて、以下のとおり加算運賃を設定します。

普通旅客運賃 (大人)	70円
通勤定期旅客運賃 (大人 1か月)	2,620円
通学定期旅客運賃 (大人 1か月)	970円

■新綱島駅と綱島駅の取り扱いについて

東急新横浜線 日吉駅～新綱島駅間を含む定期券 を

お持ちのお客さまは **綱島駅** でも乗降が可能

東横線 日吉駅～綱島駅間を含む定期券 を

お持ちのお客さまは **新綱島駅** でも乗降が可能

新綱島駅は、東横線の綱島駅と非常に近接した位置関係にあるため、両駅から東横線・目黒線方面への運賃が同額となるように設定しています。また定期券についても、ご利用のお客さまの利便性を考慮し、東急新横浜線の開業にあわせて、上記のような取り扱いを適用します。

弱冷房車について

東急新横浜線は、直通運転する東横線・目黒線の設定によります。

東横線：全ての車両で、9号車に設定します。

←新横浜方面 **10号車 9号車 8号車 7号車 6号車 5号車 4号車 3号車 2号車 1号車** 渋谷方面→

※東急新横浜線から東横線に直通運転する列車は10両編成のみです。

目黒線：東急電鉄・東京メトロ・東京都交通局・埼玉高速鉄道車両では4号車、相模鉄道車両は7号車に設定します。

東急電鉄・東京メトロ・東京都交通局・埼玉高速鉄道車両

←新横浜方面 **8号車 7号車 6号車 5号車 4号車 3号車 2号車 1号車** 目黒方面→

←新横浜方面 **6号車 5号車 4号車 3号車 2号車 1号車** 目黒方面→

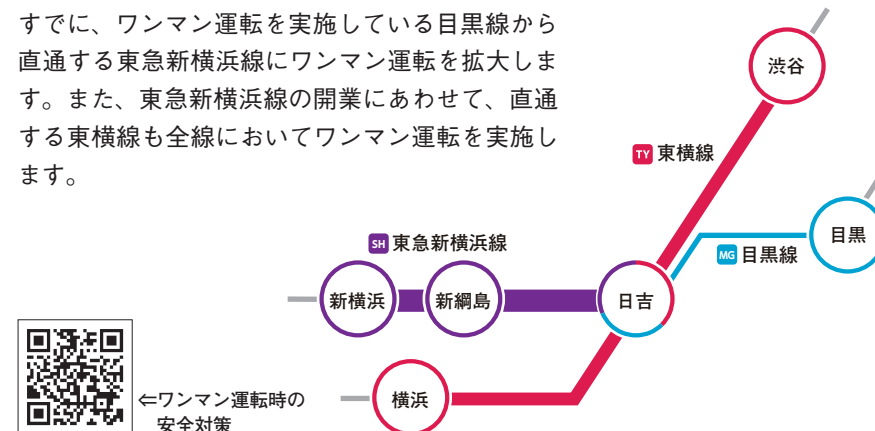
相模鉄道車両

←新横浜方面 **8号車 7号車 6号車 5号車 4号車 3号車 2号車 1号車** 目黒方面→

女性専用車については、決まりましたらお知らせします。

ワンマン運転の拡大について

すでに、ワンマン運転を実施している目黒線から直通する東急新横浜線にワンマン運転を拡大します。また、東急新横浜線の開業にあわせて、直通する東横線も全線においてワンマン運転を実施します。



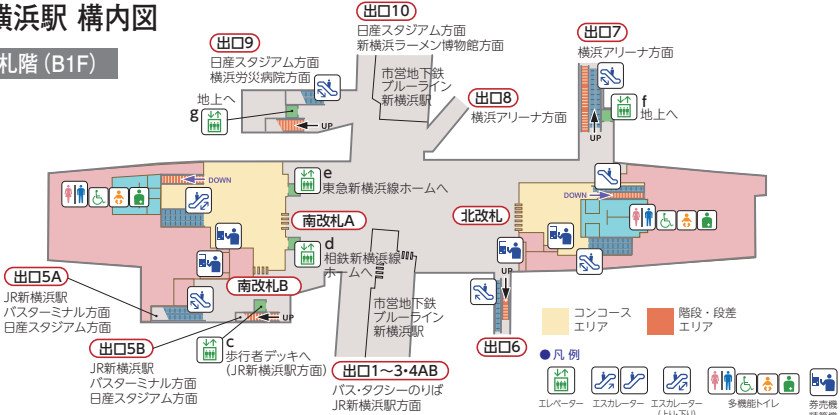
←ワンマン運転時の安全対策

東急新横浜線
相鉄新横浜線

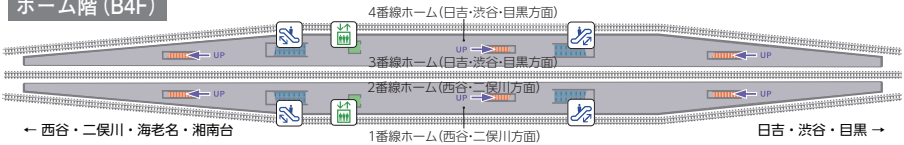
新横浜駅が誕生します!

新横浜駅 構内図

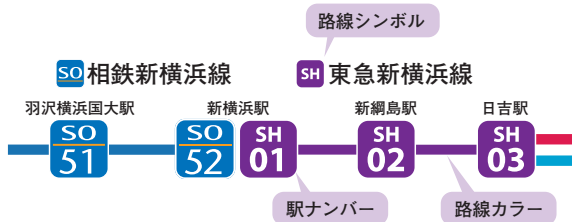
改札階 (B1F)



ホーム階 (B4F)



駅ナンバー 路線カラー 路線シンボルの ご案内



東急グループお客さまご案内窓口 東急お客さまセンター

TEL. 03-3477-0109 [月~金] 9:00~17:00 [土日祝] 9:00~17:00 (年末年始などを除く)
東急線各駅へのお電話は、土日祝を除き東急お客さまセンターへ転送されます (上記営業時間内)。

2023年3月 相鉄・東急新横浜線 開業!

発行 東急電鉄株式会社
www.tokyu.co.jp/railway/
発行日 2022年11月24日
デザイン・制作 東急株式会社 セラン事務局



東急新横浜線
特設サイトは
<こちら



※記載の内容は 2022年11月24日現在の情報です。
今後の計画により変更となる場合があります。

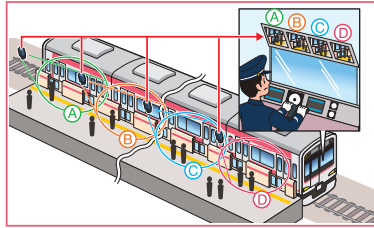
ワンマン運転が拡大するって、ホントですか？

どういう仕組みなのかしら？

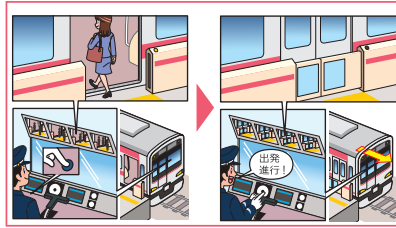
万が一の時、大丈夫なのかしら？



■ 運転席には、お客さまの乗降が分かるモニターが設置されています



ホームに設置したカメラでお客さまの乗降を撮影し、運転席のモニターに投影します。



運転席のモニターを確認して運転士がドアの開閉を行います。

■ ホームドアが列車の出発・到着・通過時の安全を確保します



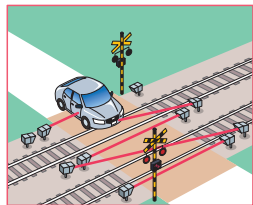
お客さまがホームから転落したり、列車と接触したりする事故を防止するため、東横線・目黒線・田園都市線・大井町線の全駅にホームドアを設置しています。また、池上線・東急多摩川線の全駅には、センサー付固定式ホーム柵を設置しています。ホームドアにはセンサーが設置されており、閉まりかけた際に人や荷物を感知するとホームドアが開きます。また、ホームドアが正常に閉まったことを確認できないと列車が発車できない仕組みとなっています。

■ 東急電鉄所属の全車両に防犯カメラを設置しています

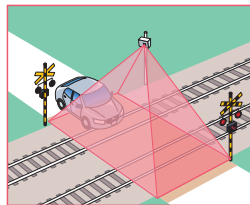


東急電鉄所属の車両に、4Gデータ通信に対応したLED蛍光灯一体型の防犯カメラ「IoTube(アイ・オー・チューブ)」を設置し、車両内のセキュリティ向上を図っています。遠隔地からでも映像を確認することができ、車両内のトラブル発生時には、迅速な対応が可能です。

■ 踏切では、レーザー式と3D式の踏切障害物検知装置が、事故を未然に防ぎます



レーザー式踏切障害物検知装置



3D式踏切障害物検知装置

2021年7月、東急線全踏切135カ所への踏切障害物検知装置(レーザー式または3D式)の設置を完了しています。さらに、従来のレーザー式センサーよりも障害物の検知精度が高い3D式センサーを使用した検知装置の導入を、順次進めています。現在設置されているレーザー式検知装置を3D式に置き換え、3D式検知装置の設置100%を目指しています。

東急線では、目黒線、池上線、東急多摩川線でワンマン運転を実施しています。2023年3月より、目黒線から直通する東急新横浜線にワンマン運転を拡大します。また、東急新横浜線との直通にあわせて東横線もワンマン運転を順次実施します。ワンマン運転時も安全に運行できるよう、さまざまな安全対策に取り組んでいます。

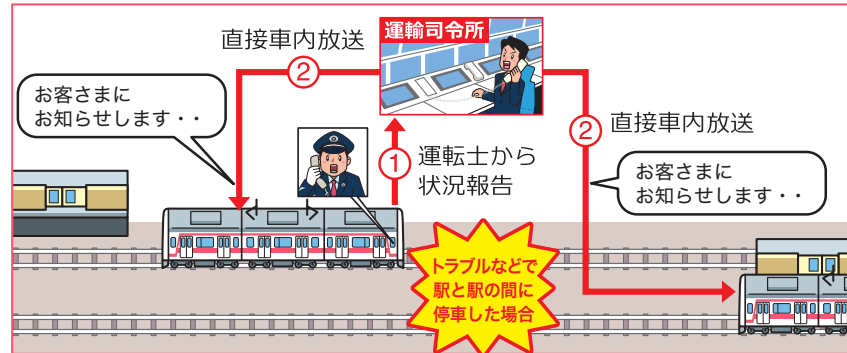
■ 車内非常通報ボタンは運輸指令所^{*}ともつながっています



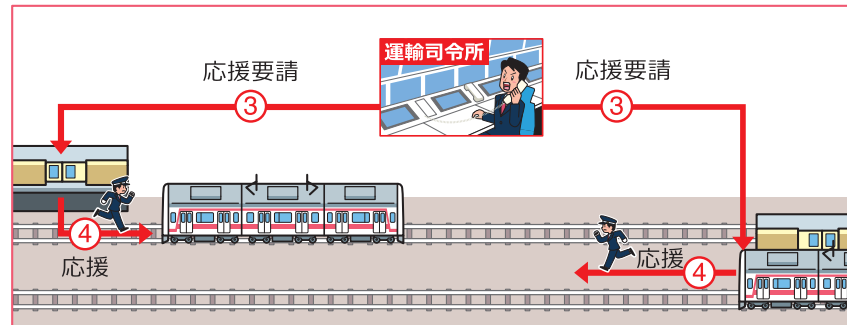
車内非常通報ボタンは、1車両に1〜4カ所設置されています。ボタンを押すと運転士が応答します。運転士が応答できない場合は運輸指令所に自動で転送され、運輸指令所の司令員が応答します。

*東急線の運行を管理する部署です

■ トラブル時は、運輸指令所から車内放送や応援者要請を行います



トラブルなどでやむを得ず駅と駅間に停車した場合、運転士または運輸指令所から車内放送で状況をお知らせします。



避難誘導が必要な場合、最寄り駅などから応援者が駆け付けます。運輸指令所は、必要に応じて警察、消防に対応を依頼します。